

HALL INFORMATION 4

「ルパン三世」の生みの親
ジャズ界を代表する大野雄二が
Lupintic Fiveと共に繰り広げる
熱いジャズライブ。

大野雄二&ルパンティックファイブ スペシャルジャズライブ in 千葉

2/19(日) START 15:00 (OPEN 14:30)

【出演】大野雄二&ルパンティックファイブ (江藤良人/ドラムス、井上隆介/ベース、松島啓之/トランペット、鈴木央紹/サクソ、和泉聡志/ギター)
【プログラム】ルパン三世のテーマ/ラブ・スコール ほか

チケット料金 【全席指定】一般 3,800円/18歳以下 3,300円 ※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。



Yuji Ohno & Lupintic Five



◆2月19日(日)にルパンティックファイブという最強メンバーを率いて、スペシャルジャズライブを行う大野雄二さんへのインタビューを行いました！

—2011年11月30日に「Eternal Mermaid」(Yuji Ohno & Lupintic Five with Friends 金曜特別ロードショー ルパン三世「血の封印」-永遠のmermaid- オリジナル・サウンドトラック) がリリースされましたが、レコーディングはいかがでしたか？

今回は4ビートJAZZを中心に楽しい内容です。「ルパン三世のテーマ」のローボバージョンや「メモリー・オブ・スマイル」のリラックスバージョンも、それと！今、大野君がやみつきになっているヨッチャン(中納良恵さん)の唄う「ラブ・スコール」がすごいぞ！！

—それはライブも期待できますね！ライブとCDとは「ここが違うぞ！」という聞きどころ(見どころ)を教えてください！

ライブは、間違ったりすることも魅力ですので、その日その場所しか出来ない演奏というのがやはり違います。ライブとCDとは全く別物ですので、両方楽しみたいと損です。

—本当にその通りだと思います。また今回はライブハウスではなく、大きなホールでの演奏になりますが、ライブハウスとどのような点が違いますか？

しっかりとメンテナンスされたピアノを弾けるってこと。あとは、ホールだとピアノの響きがやっぱり気持ちがいいな。

—ルパンティックファイブという年代の違う仲間と演奏する最大の楽しみはどんなことですか？

楽屋でもみんなで馬鹿騒ぎしているだけで、実際の年齢ほど差は感じないんだけど、やっぱり元気をもらってます。

—それは素敵な関係ですね！少しライブとは離れますが、大野さんご自身についてお伺いいたします。ルパン三世の音楽を担当されるきっかけとルパンへの思いを教えてください。

日本テレビにジャズ好きのプロデューサーがいて、その人が石立鉄男さんの「ババと呼ばないで」や「水もれ甲介」などのいわゆる石立ドラマの音楽に僕を使ってくれていたんだけど、そのプロデューサーが「ルパン三世」を担当することになり、それまでアニメの仕事をやったことがなかった自分を思い切って使ってくれたんです。「えーい、ルパンも大野に頼んじゃえ〜」という決断はある意味ギャンブルに近かったと思うよ(笑)。気がつけばありがたいことに30年以上ルパンの音楽を担当させてもらってるけど、僕は本当にルパンの大ファンで、ルパンの音楽を作るのが大好きで、僕にとっては天職だと思っています。

—それは素晴らしいことですね。今回のライブが初めてのジャズという方もいると思うので、そんな方々へジャズの楽しみ方のポイントを教えてください。

とにかく、頭で考えないで、楽しむってことだと思います。その場で踊りだしてもらって全然、OK。

—踊ってもいいんですか？それは楽しそうです！それでは最後に楽しみにしているファンに一言お願いいたします。

ジャズと聞くと、難しくて敷居が高いようなイメージがあるかもしれませんが、僕らのステージは誰でも楽しめて、踊りたくなくなっちゃうようなホットなライブなので、是非是非気軽に遊びに来て下さい！

—お忙しい中、ありがとうございました！ライブを楽しみにしています。

Yuji Ohno
SPECIAL
INTERVIEW